



3年学年通信

夏号 2021.7

＝生徒版＝



1 はじめに

コロナ禍ということもあり、開催・実施が心配された総体・総文も無事終わり、いよいよ受験の天王山とも言える夏となりました。この夏の学習を通して、苦手科目における知識・技能の定着、得意科目における思考力（知識・技能の使い方）の育成を図り、実りの秋へとつなげてもらいたいと思います。

2 夏休みの過ごし方について～学習を中心に～

【学習時間の量はその人の本気度】

まずは生活リズムを崩さないことです。普段通りに起き、普段通りに学習を始める。それができれば、朝・昼・夜それぞれで3時間ずつは確保できます。秋になり、焦らないためにも、この夏が勝負です。また、学習以外にも七高祭関係で時間を使うことも出てきます。時間は有限です。有限だからこそ、メリハリある時間の使い方をしましょう。

【「頑張る」「頑張った」という抽象的な表現に逃げない】

夏が勝負と意気込み、勉強を頑張るという人がほとんどだと思いますが、その「頑張る」という言葉に要注意です。「時間をかけて頑張ったから」と結果が出ると期待してしまいがちですが、頑張ることよりも、いかに目的に向かって合理的に、本気で努力を積み上げてきた時間があるのかです。担任の先生等に「夏休みの学習の成果は？」と聞かれて「〇〇に取り組んで、□□ができるようになってきました」ときちんと説明できるような学習の取り組み方をすることが重要です。

【目的を意識した学習にするために】

「これができればOK」という目的を文字で手帳などに可視化しておくのがおススメです。可視化することで、終わりが見えやすくなります。終わりが見えないとだらだらと時間だけを浪費してしまうこととなります。ただ、言語化するにしてもどれだけ具体的に言語化できるか。「いつ」「何を」「(数量で)どれだけ」この3点は入れておく、またそれを前日までに設定しておくことでよりスムーズに学習に取り組めるようになります。

【計画を実行するために】

計画は立てたけど、計画通りに学習を実行できないって人は少なくないと思います。それには原因があります。それは立てた計画が自分の性格に合っていないことが多いです。まずは「己を知る」ことからです。大まかに分けて2種類のタイプを提示しますので、参考にしてみてください。

<タイプ1：拡散型>

特徴：読みたい本があれば次々手をつける。つまらないものは途中でやめても気にならない。面白いと思ったらすぐに動く。自由に動けないとストレスを感じる。

- ① 勉強する場所は気分で決める。
- ② ノルマは5日間の中で決める。
- ③ 憧れの人をロールモデルにする。
- ④ テンションが上がる問題集を1冊見つける。
- ⑤ ゲーム感覚で、ハイレベルな問題に挑戦する。

<タイプ2：保全型>

特徴：一冊を最後まで読んでから次の本を読む。読み切ってからじゃないと不安になる。ちゃんとやりたい思いが強い。何も方針がないとストレスを感じる。

- ① 勉強する場所は固定する。
- ② 1日ごとのノルマを決める。
- ③ 仲間に進捗状況を報告する。
- ④ 今持っている問題集を徹底的にやる。
- ⑤ ハイレベルな問題には手を出さない。

以上4つの観点から、夏休みの過ごし方についてまとめました。また、これらとは別に「いかにその問題の深いところまで入るか」も大切です。皆さんの手元には「問題」とセットに「解答・解説」もあります。「解答・解説」を見て、「なるほど」と受容するよりも、1つ1つ確認して、自分のひっかかりを明らかにし、それを解決することが大切です。解決するためにはピンポイントでそこだけを振り返っても効果は薄いです。全体像を把握してこそその解決です。演習を通して次に何をやる必要があるか、そういう連続性のある学習でできてこそ総合力がつかえます。来年の3月「あの夏があったから」と言えるような過ごし方をしましょう。

3 七高祭に関して

8/27に文化祭、8/28に体育祭が行われます。8/16から始まる夏期補習（後期）の午後の時間を使って、主に準備をしますが、最上級生である皆さんには、下級生への気遣いや模範となれるような振舞いをお願いします。特に団での集団演舞の練習時にです。コロナ対策はもちろんのこと、暑い中での練習になります。自分自身の練習だけでなく、調子を崩しているようなクラスメイトや下級生はいないか目を配りながら練習に取り組んでもらいたいと思います。あとは期日厳守。準備は計画的にしましょう。

	団の色	団長	副団長
31H	桃	田下 威希	渡 志織
32H	赤	石島凜々子	小倉大志郎
33H	緑	黒坂 海斗	濱田 葵
34H	黄	枝川 文汰	木幡 美沙
35H	青	横江 伽威	大矢 柊子
36H	黒	塩谷 大和	濱名りかこ

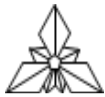
4 今後の予定

- 7/21～ 夏期補習（前期） / ホームPTA
- 8/2～4 東大・京大・名大オープン模試、難関大模試（希望者対象）
- 8/7、8 全統共通テスト模試（全員対象）
- 8/16～ 夏期補習（後期）
- 8/27、28 七高祭
- 9/2 共通テスト出願説明会
- 9/3、4 全統記述模試（全員対象）
- 9/10、11 進駿共通テスト模試（全員対象）
- 9/30～10/5 2学期中間考査
- 10/8、9 進駿記述模試（全員対象）
- 10/20 校内球技大会
- 10/22、23 全統記述模試（全員対象）
- 10/29、30 進駿共通テスト模試（全員対象）
- 11/22～26 2学期期末考査
- 11/27、28 全統共通テスト模試（全員対象）
- 12/24、27 ホームPTA
- 1/15、16 共通テスト
- 1/24、25 ホームPTA（国公立大学等の出願について）

詳細はまだ決まっていますが、希望するご家庭を対象に9月に3年保護者懇談会を予定しています。後日お知らせします。

5 げんきのつばやき

この前、ふと車を運転しているときに、自分が高校3年生のときの夏休みを思い出しました。皆さんには今の時期は土台をしっかり作れと言ってきましたが、自分はそれができていなかったと思います。確かに人よりも数学はできたけど、だからといって夏の時期に難しい問題に取り組んだ時にさっぱり解けなかったですし、それから何を学べたかというあまりなかったです。また、苦手にしていた物理は短期集中の講習とかを受けても改善はなかったです（受講した講習が自分のレベルにあっていなかったのが原因かと）。現役生はまだ磨く前の原石です。夏すべきは難しい問題よりも標準レベルの精度を上げることかと思います。急がば回れですよ（回るには量的な確保が必要ですが…）。



3年学年通信

夏号 2021.7

＝保護者版＝



1 はじめに

コロナ禍ということもあり、開催・実施が心配された総体・総文も無事終わりました。残念ながら地元インターハイに出場する生徒はいませんが、最上級生として立派にやり切ってくれました。

また、総体・総文後は放課後補習も始まり、約7か月後にせまった受験に向け、学習意識・行動の向上が見受けられます。いよいよ受験の天王山とも言える夏です。この夏の学習を通して、苦手科目における知識・技能の定着、得意科目における思考力（知識・技能の使い方）の定着を図り、実りの秋へとつなげていきたいと考えています。

【主な大会結果】（北信越大会出場以上のもの）

ボート部	男子舵手付きクォドルプル 2位 女子舵手付きクォドルプル 3位 ※男子総合優勝、女子総合第3位
男子バレーボール部	第3位
女子ソフトテニス部	団体第3位
男子空手道部	団体組手第3位
女子卓球部	ダブルスベスト8 ※団体第3位
水泳部	男子100m平泳ぎ第4位 男子100m自由形第7位



2 お子様の家庭での過ごさせ方について

6月27日に最終回むかえた「ドラゴン桜2」をご覧になられていた保護者の方もおいでではないかと思えます。ある回で「東大合格必勝法 家庭の10か条」というものが紹介されていました。これは、東大志望者がいる家庭に限ったことではなく、全ての家庭に言えることだと思えます。重要なのは、日常生活を大切にすることです。受験というと家庭の一大事と捉え、子供を特別扱いし、家庭を非日常的空間に変えてしまいます。日常生活から得られる精神的安定がその子の集中力を高め、結果的に成績アップにつながります。日常生活の延長線上に合格があります。

ただ、なかなか動かないお子様を見て、焦る保護者の方もおいでだと思います。規則正しい生活により、習慣性が身につく、勉強するサイクルが生まれ、勉強することが当たり前になるまでが我慢です。一番大変な思いをしているのはお子様自身です。「認めて信じる」ことが大切だと思います。ただ、規則正しい生活ができていないのであれば、それは叱るべきです。お子様に遠慮する必要はないと思います。あくまで「いつも通り」それが大切だと思います。

なお、裏面にこれ以外にも保護者の皆様に見ていただきたい資料を載せましたので、ご覧ください。

東大合格必勝法 家庭の10か条

- 1 一緒に朝ご飯を食べること
- 2 何か一つでも家事をさせること
- 3 適度に運動させること
- 4 毎日同じ時間に風呂に入らせること
- 5 体調が悪いときは無理させず、休ませること
- 6 リビングはいつでも片付けておくこと
- 7 勉強に口出しをしないこと
- 8 夫婦仲を良くすること
- 9 月に一度家族で外食すること
- 10 この10か条を父親と共有すること

3 七高祭について

8/27に文化祭、8/28に体育祭が行われます。文化祭の模擬店については今年度も調理はなしとし、転売や移動販売車と呼ぶなどで対応する予定です。体育祭では最上級生としてリーダーシップを発揮し、コロナ対策・熱中症対策を講じながら、1つの集団演舞を作りあげられるよう指導していきたいと思います。保護者の皆様の七高祭の出席等につきましては後日お知らせします。東京オリンピック後の国内・石川県内のコロナの感染状況も見ながら判断する予定です。

	団の色	団長	副団長
31H	桃	田下 威希	渡 志織
32H	赤	石島凜々子	小倉大志郎
33H	緑	黒坂 海斗	濱田 葵
34H	黄	枝川 文汰	木幡 美沙
35H	青	横江 伽威	大矢 柊子
36H	黒	塩谷 大和	濱名りかこ

4 第3学年保護者進学説明会について

先日はお忙しい中、ご来校いただきありがとうございました。一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜それぞれの特徴や、校内におけるルールを確認させていただきました。総合型選抜は9月から、学校推薦型選抜は11月から出願が始まりますが、どちらも小論文や面接指導以外にも出願書類等の準備に時間がかかります。担任への相談は早め（出願開始日の1か月前まで）にお願いします。

5 今後の予定

7/21~	夏期補習（前期） / ホームPTA
8/2~4	東大・京大・名大オープン模試、難関大模試（希望者対象）
8/7、8	全統共通テスト模試（全員対象）
8/16~	夏期補習（後期）
8/27、28	七高祭
9/2	共通テスト出願説明会（生徒対象のもので保護者対象のものではありません）
9/3、4	全統記述模試（全員対象）
9/10、11	進駿共通テスト模試（全員対象）
9/30~10/5	2学期中間考査
10/8、9	進駿記述模試（全員対象）
10/20	校内球技大会
10/22、23	全統記述模試（全員対象）
10/29、30	進駿共通テスト模試（全員対象）
11/22~26	2学期期末考査
11/27、28	全統共通テスト模試（全員対象）
12/24、27	ホームPTA
1/15、16	共通テスト
1/24、25	ホームPTA（国公立大学等の出願について）

詳細はまだ決まっていますが、希望するご家庭を対象に9月に3年保護者懇談会を予定しています。後日お知らせします。

6. 学年会から保護者の皆様へのお願い

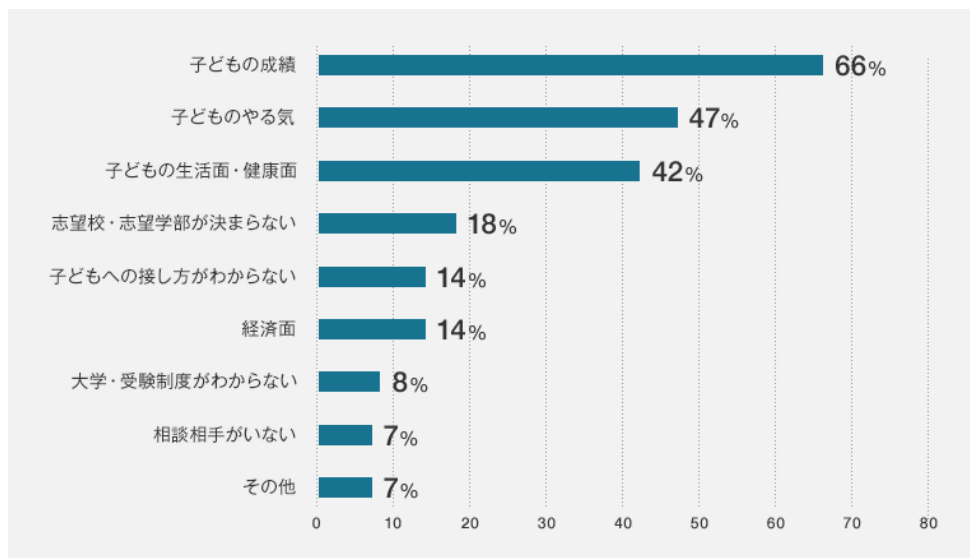
- (1) 夏期補習の期間中もやむを得ず欠席・遅刻する場合は、保護者からご連絡をお願いします。
- (2) コロナウイルス感染が疑われる場合、PCR検査を受ける前に学校にご連絡ください。
- (3) お子様の事でご相談や学校で留意してほしい点などがありましたら、気軽にホーム担任にご連絡下さい。

七尾高校0767-52-3187

受験期のお子様との接し方

受験期には受験生はもちろん保護者も不安や悩みが尽きません。心配の余りお子さんについて口を出しすぎてしまうこともあるかと思います。ちょっとしたすれ違いが大きな齟齬に繋がることもあります。お子さんも保護者もイライラしやすい子の時期をどう乗り越えればいいのか。

1 受験期に保護者が感じた不安は・・・



2 子どもが感じた親への不満

センター試験と一般受験の違いなどがわかっていなくて、聞かれるのがストレスでした。

自分たちの時代と比較していること。そのイメージで、進路を押し付けてくること

子どもは、親に対して完璧な受験知識やアドバイスを求めているわけではありませんが、保護者としてある程度の情報収集は必要です。受験制度はもちろん、大学・学部の位置づけや大学進学の意味合いも時代によって変化しています。今年度は大学入学共通テストの導入やその影響で個別試験の内容の見直しをはかった大学もあります。また、コロナ禍で今年度だけの形式をとる大学もあります。大学の受験システムは大変複雑です。必要な情報も多いので、子どもだけでは情報整理が難しいこともあります。概要をご確認いただき、関心を持って見守っているという姿勢で子どもたちに接していただければと思います。

3 受験期の子どもに言って後悔している言葉

常に「勉強しなさい」と焦らしました。あまり本人をほめなかったことです。

ネガティブな言葉。「ダメ」「絶対無理」「この成績ではどこにも入れない」など。

本人も気にしているのに、良い成績がとれないことを責めてしまった。

志望校を決定する時に「そんな大学に受かってもお金を納めない」と言ってしまい大変後悔をしました。

4 親から言われて嬉しかった言葉

受験期の子どもの心は極めてデリケートです。頑張っているねと励ましの言葉かけたくなりますが、この励ましがかえってプレッシャーになることもあるようです。どんな言葉も大切なのはタイミング。頑張っている彼らにタイミングよく叱咤激励をお願いします。

「頑張れているのかなあ？」と不安になってこぼすと、必ず「間違いなく頑張ってるよ」と言ってくれたこと。

「自分の行きたいと思う大学で、自分の好きなことをして欲しい」と言われたこと。大学を自由に選ばせてくれた点は、特に感謝しています。

5 これから子どもが向かう大学受験に必要なもの

①強い精神力

受験は不安との戦いです。また、眠気や疲労などの体との戦いでもあります。苦しい時、逆境の時こそ人の真価が問われます。自分を律して最後まで頑張り切る人間性を身に付けて欲しいと思います。

②健康な身体

受験時に体調を万全にすることも大切ですが、受験勉強を継続して行うためにも、日々の健康管理は大切です。心身の自己コントロールをしっかりする・できることが大切です。

③先を見る目

急速な変化を遂げている現代、将来を見定める目を養うことは極めて大切です。社会の動きについてあまり知らない子ども達が将来を考えることは困難なことですが、主体的に考えて結論を出す力を育ててもらいたいと思います。受験を経験することで、自分を見つめ直し、一層の成長を遂げられるよう期待します。